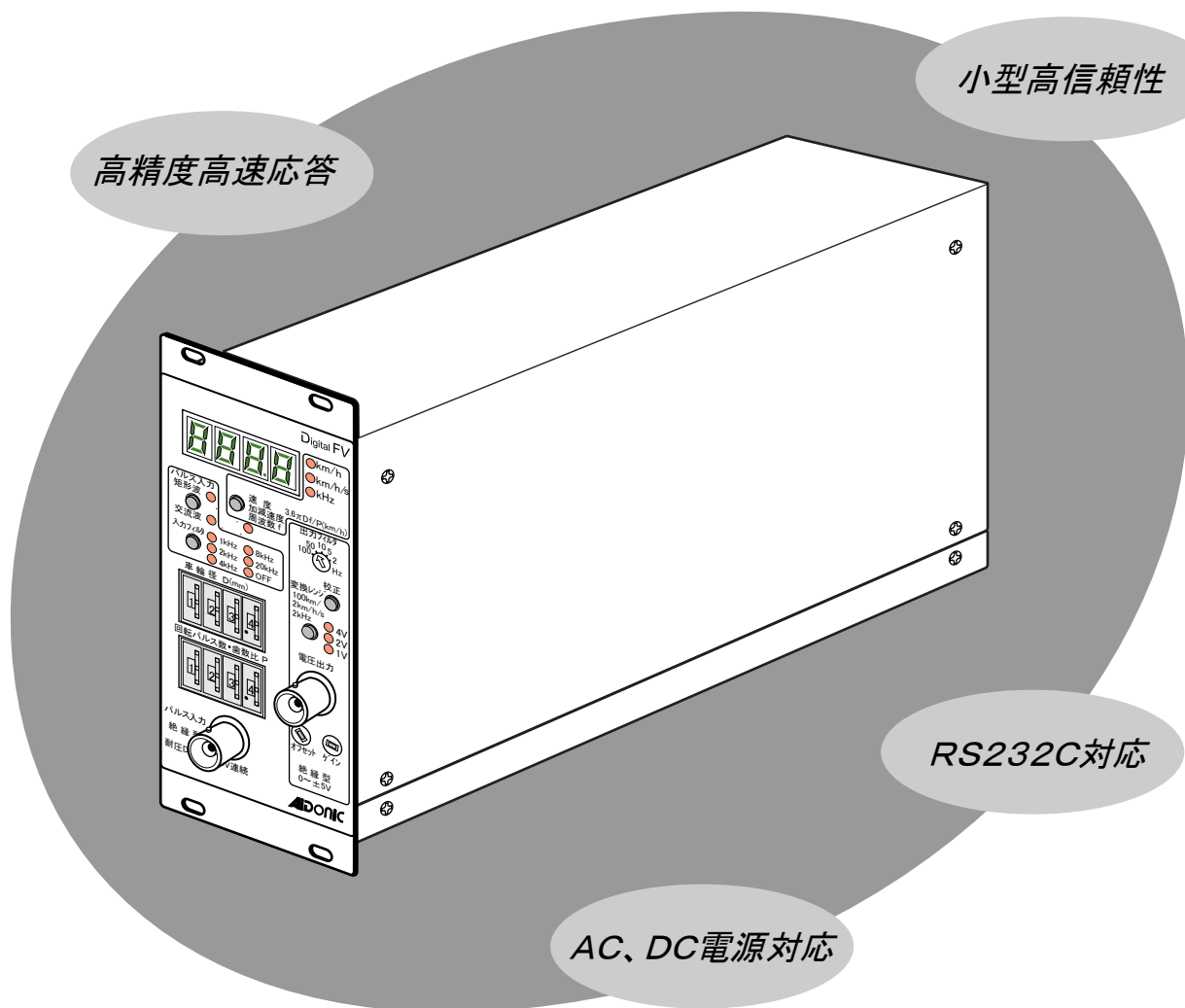


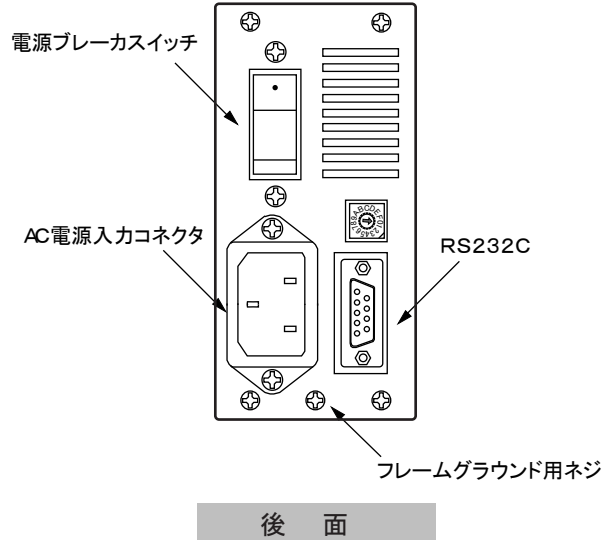
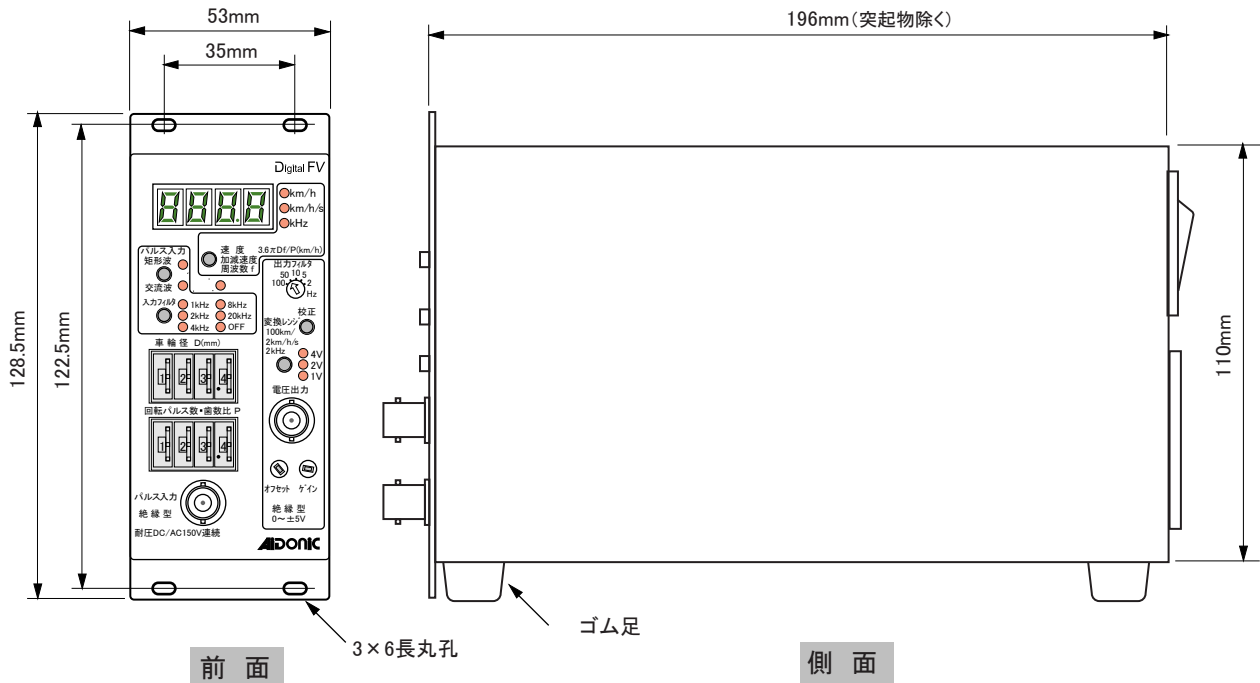
鉄道車両用 速度加減速度計 FV21B



- 速度発電機からのゼロクロス交流パルスを直接入力可能。パルス周波数から速度と加減速度を算出してその値を表示、電圧変換出力およびRS232C出力。面倒な速度の換算調整不要。車輪径、回転パルス数、電圧変換レンジなどを設定するだけ。
- パルス幅間隔測定方式によるパルス周波数の高精度測定。回帰予測演算により移動平均演算の応答遅れを低減。速度は5msの高速応答。加減速度は105msで応答。
- パルス入力は絶縁されておりサージ入力に対して高耐圧。入力ローパスフィルタでパルス周波数の誤測定の原因となるノイズを適切に除去。電圧変換出力も絶縁されており誤って電圧が入力された場合の出力回路保護機能付き。変換出力レンジは4V、2V、1Vの3段階。4Vレンジの場合、速度は100km/hで4Vが出力され、加減速度は2km/h/sで4Vを出力。出力ローパスフィルタ付き。
- EIA規格標準ケースに収納可能

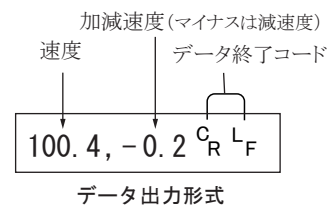
外観と寸法

自立置き、EIA規格ケースへの収納どちらの使い方もできます。収納時はゴム足を外して下さい。



RS232Cデータ出力

50msごとに速度と加減速度の瞬時値をRS232C出力します。接続先とRTS/CTSハンドシェイクを行います。通信パラメータは、7ビットASCIIコード、偶数パリティ、ストップビット1、ボーレート9600bpsです。



設定操作

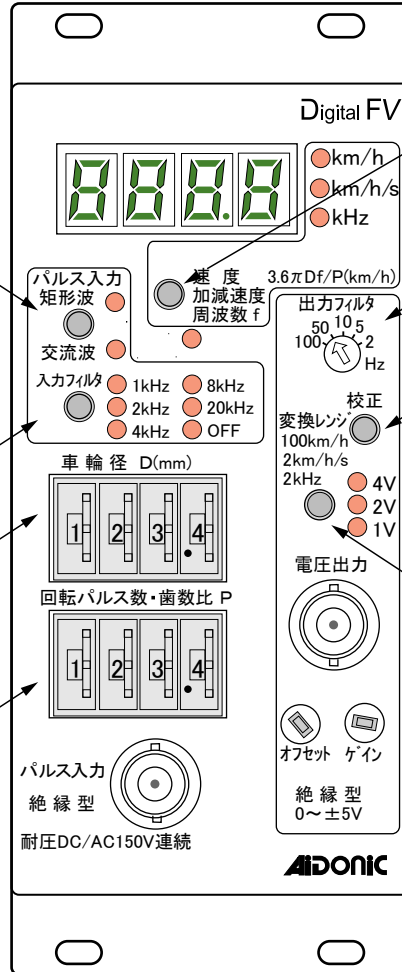
速度パルス信号の種類、入力ローパスフィルタ値の選択、車輪径と回転パルス数の設定、電圧変換レンジの選択、出力フィルタフィルタ値の選択を行うだけで、正確な速度と加減速度が求められます。

速度パルス信号の種類を選択。速度発電器からのゼロクロス交流波の場合は交流波に、ゼロクロスしない0-12V矩形波などの場合は矩形波に設定。矩形波の場合は3V以上で、交流波ではマイナスから0Vをクロスして0.2V以上でパルスありと認識。

パルス入力のローパスフィルタ値を選択。1kHz、2kHz、4kHz、8kHz、20kHzの5段階。矩形波の場合は通常、OFFを選択。

車輪の直径を設定。設定可能範囲は 999.9~10.0mm。

1回転のパルス数を設定。設定可能範囲は、999.9~10.0。歯数比がある場合、パルス数に歯数比を乗算した値を設定。例えば、パルス数が60で歯数比が2.265の場合は、135.9を設定。



速度、加減速度、周波数のいずれかの表示と電圧変換出力が可能。

電圧出力のローパスフィルタ値を選択。100~2Hzまで5段階。

押されている間、変換レンジで選択された電圧を出力。例えば、4Vが選択されている場合は、4Vを出力。

速度は100km/h、加減速度は2km/h/s、周波数は2kHzのときに出力する電圧値を4V、2V、1Vから選択。例えば1Vを選択した場合、速度は100km/hで1Vが出力され、300km/hで3Vを出力。加減速度は、2km/h/sで1Vが出力され、-2km/h/sで-1Vを出力する。